

## 学校だより 6月号



## 実感が伴う 確かな学びを

校長 毛利 友紀

梅の実が色づきはじめました。拾った実を手に取り「いい匂いがするよ」と教えてくれる児童から、季節が初夏に移っていることを感じました。5月は個人面談、個別級・1年生の授業参観、防災引き渡し訓練など、たくさんの保護者の皆様には足をお運びいただきました。ありがとうございました。また、保護者ボランティアの皆様には、いつも快く教育活動にご協力くださり、心より感謝申し上げます。

4年生の児童から「小学生の頃夢中になっていたことは何ですか？」とインタビューを受けました。私はゴム跳びやタイヤ跳びなどをして、一日中遊んでいたことをお話ししました。当時はスマホやオンラインゲームはなく、友達と一緒に汗だくになって遊んでいたものです。そこで、今の子どもたちはどうだろうと気になり、私からも学年を問わず何人かの子どもたちに「今、夢中になっていることや楽しいことは何？」と聞いてみました。すると、「体育の授業」「クラブ活動」「友達とのおしゃべり」「フリスビー鬼ごっこ」「一輪車」「朝顔の水やり」など、学校で過ごす中での楽しみを次々と教えてくれ、大変嬉しく思いました。先日の朝会で「楽しいなと思えることを見付けられるとよいですね」とお話ししたところだったからです。

いよいよ1年生が朝顔を育て始め、「2個芽が出たよ」「育てるのが楽しい」と言いながら、愛おしそうに自分の鉢に水やりをする姿は微笑ましい限りです。これからも大切に育て、生命尊重の心を育むとともに、生長していく朝顔からたくさんの気付きを得てほしいと願っています。

また、麻生市民館で行われたこころの劇場には6年生が参加し、劇団四季のミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」を鑑賞してきました。ストーリーの面白さはもちろん、演技や歌、ダンスの素晴らしさに引き込まれ、ラストシーンでは前のめりになって見入る子どもたちの姿が見られました。終演後に子どもたちは「迫力があった」「音響がよかった」「場面転換もすごかった」と話しており、本物の舞台芸術の魅力をしっかりと感じ取ることができました。

さて、ある新聞記事に、「10～20代の6%にSNSの病的使用が疑われ、若年層のSNS依存が深刻化している（国立病院機構久里浜医療センター調査）」とありました。大変心配な状況です。現代では、前述のように「友達と遊ぶ」「栽培する」「芸術に触れる」といったことは、インターネットや動画サイトなどを介して疑似体験できるようになりました。しかしながら、小学生のこの時期にこそ、人や物、地域社会に実際に触れ、関わり合う体験を豊富に積んでいってほしいと考えます。直接的な体験には実感が伴い、それによって引き出される子どもの好奇心、課題解決能力、豊かな情操、コミュニケーション能力…など、得られる教育的価値は計り知れないものがあるからです。6月7日（日）～9日（火）には、三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジにて5年生の自然教室を予定しています。日常とは異なる場面での体験的な学習により、子どもたちがどのような成長を遂げられるのか、楽しみです。他学年におきましても充実した学習が実現できるよう、教育活動を工夫してまいります。

まもなく梅雨の時期を迎え、体調管理が難しくなります。学校では、暑さ指数（WBGT）に基づいた適切な判断のもと、熱中症に十分留意して教育活動を行ってまいります。雨の日には、室内で楽しく過ごす工夫をし、晴れた日には、暑さに体を慣らしながら元気に外で遊んでほしいと思います。

「あ、そうっか 麻生区長寿日本一」6月号（麻生区役所地域みまもり支援センターより）

6/19は食育の日

ごはん・おかず・やさいをバランスよく食べましょう！

お米お野菜を作ってくれた人、それを売るために働いている人、そして、お料理を作ってくれる方…

「食事」にはいろんな人の思いがこもっています。しっかり食べて、体も心も元気に…健康長寿日本一の麻生区からのお知らせでした。